

技能実習生・研修生統計 2010年6月末分

(JITCO 業務統計速報)

財団法人国際研修協力機構 (2010年7月23日作成)

《ポイント》

- 平成22年6月のJITCO支援技能実習生・研修生は3,572人、対前年同月比19.8%減。対前年同月比減少幅は逐次縮小(4月73.7%減、5月43.1%減、6月19.8%減)。
- JITCO点検実施状況のうち、「資格変更」が対前年同月比で2倍以上の大幅増。本年7月1日入管法改正による経過措置に伴う資格変更申請が行われているため。

結果の概要

【JITCO支援技能実習生(1号)・研修生(総数・性別・国籍別)】→表1、図1

- ・ 全体のJITCO支援技能実習生(1号)・研修生数は3,572人、対前年同月比で19.8%の減少となった。この要因として、厳しい経営環境と、4月以降は、7月1日の改正入管法施行に伴う在留資格認定証明書交付申請書式・提出書類の変更及び、監理団体側の職業紹介事業の許可申請・届出の遅れの影響等一時的なものが挙げられるが、JITCO主催の新制度対応実務者講習会の積極開催(全国延13回開催、参加団体1,500以上)、職業紹介事業に係る許可申請・届出の順次進行等により、これら一時的要因による減少幅は逐次縮小してきている(対前年同月比4月73.7%減、5月43.1%減、6月19.8%減)。
- ・ 国籍別では中国が2,998人で最も多い(全体の83.9%)。

【JITCO支援技能実習生・研修生(受入れ形態別・点検実施状況別)】→表2

- ・ 受入れ形態別では、団体監理型3,291人(全体の92.1%)、企業単独型281人(全体の7.9%)であった。対前年同月比で見ると、団体監理型は18.2%減、企業単独型は35.0%減であるが、両者とも減少幅は逐次縮小している。特に団体監理型の減少幅は大きく縮小してきている(対前年同月比4月76.0%減、5月43.3%減、6月18.2%減)。
- ・ JITCOの点検実施状況(人数ベース)については、「資格変更」が最も多く10,173人(対前年同月比では109.1%増)となった。この「資格変更」の増加は本年7月1日の改正入管法施行に係る経過措置により、「研修」(在留期間6月)から「技能実習1号」及び「特定活動(技能実習)」から「技能実習2号」への在留資格変更申請の手続きが一時的に生じているため。

【技能実習移行申請者(総数・性別・国籍別)】→表3、図2

- ・ 技能実習移行申請者数(総数)は、企業数ベースで1,363企業(対前年同月比35.0%減)、人数ベースで3,747人(同39.0%減)となった。この要因としては、昨年同期の入国申請者数の落ち込み(対前年同月比34.4%減)が挙げられる。
- ・ 性別では男性1,591人(全体の42.5%)、女性2,156人(全体の57.5%)となった。対前年同月比で男性が49.4%減であるのに対し、女性は28.2%減と、男性の減少が顕著である。
- ・ 国籍別では、中国は2,871人(全体の76.6%)、次いでフィリピン281人、インドネシア252人となっている。

【技能実習移行申請者(産業・職種別)】→表4、図3

- ・ 技能実習移行申請者を産業別に見ると、繊維・衣服製造関係が1,019人と最も多く、次いで機械・金属製造関係で779人となっている。

図1 JITCO支援技能実習生・研修生移行申請者数の推移

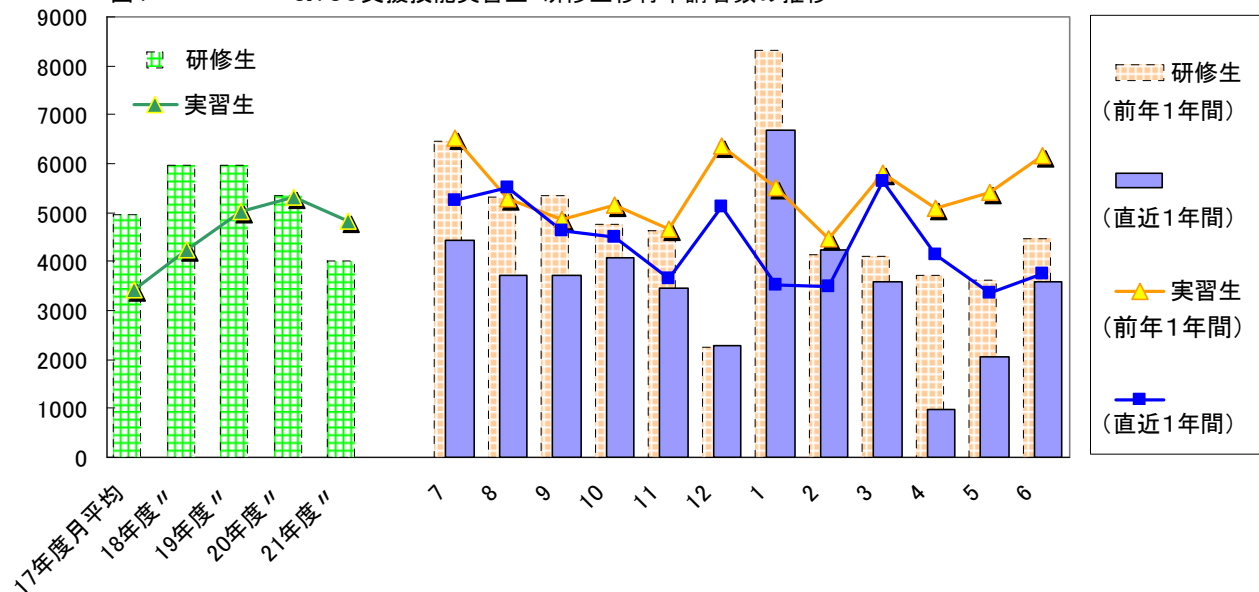


図2 国籍別 技能実習生移行申請者数

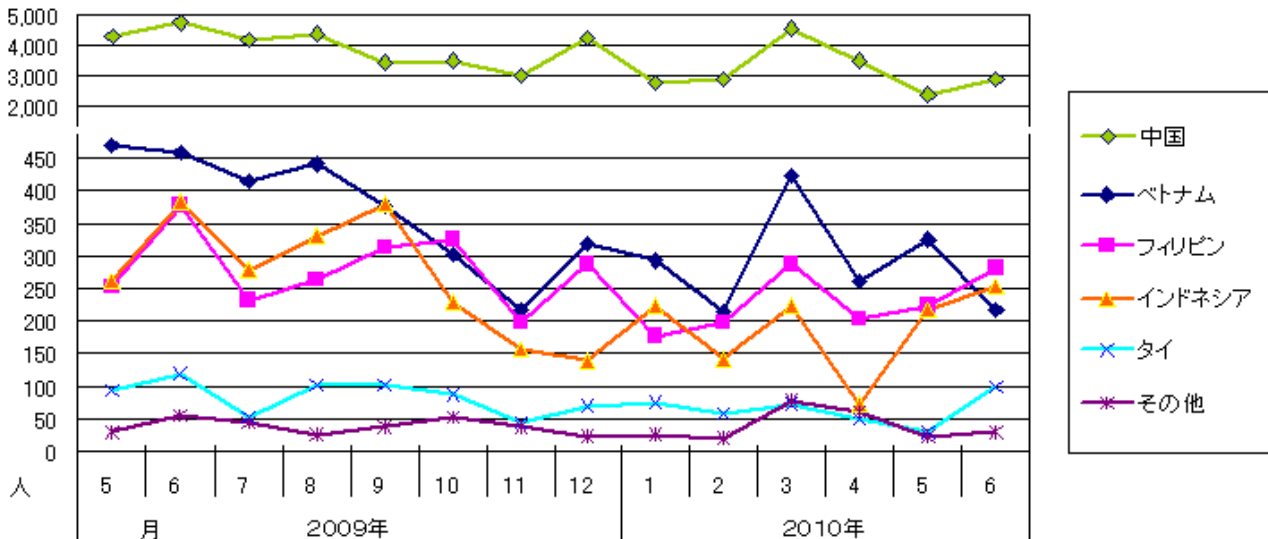
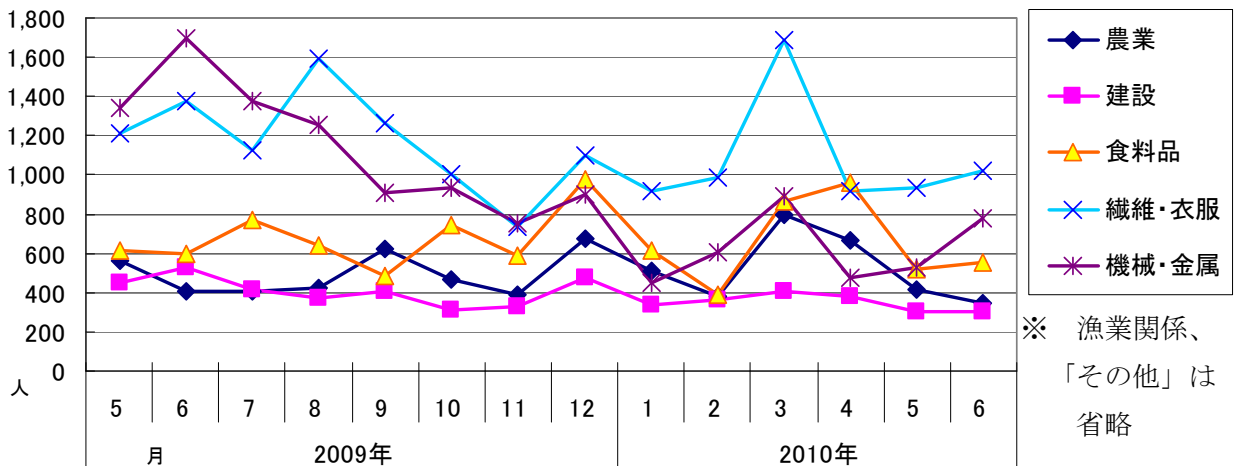


図3 産業・職種別 技能実習移行申請者数



※ 漁業関係、「その他」は省略